

学力向上に係る効果的事例

小中連携を図る「ホリデースクール」の実際

【三郷市教育委員会】

1 学校 学年 教科 小学校 全学年 国語・算数

2 ねらい

- ・学習ボランティア（中学生）は教えることにより学ぶ意欲を増し、小学生は教えてもらうことにより学習に対する関心を深め、共に学力向上を目指す。
- ・小学生と学習ボランティア（中学生）の交流による心のふれあいを深める。

3 取組内容

「ホリデースクール」の実際

事前

- (1) 土曜日又は、日曜日の午前中の2時間を計画する。
- (2) 中学校の担当教師と実施についての連携を図る。
- (3) 小・中学校の児童・生徒に参加希望を募る。
- (4) 小学校でクラス分け・問題作成（プリント）などの準備をする。
- (5) 参加者全員に保険をかける。（週休日のため登下校の安全確保）

当日

- (6) 学習ボランティアに対して日程の説明をする。
- (7) いよいよ、スクール開始！45分ずつ2コマの学習をする。
- (8) クラスごとの運営は、小学校の教師。丸付けや解からないところの指導は、学習ボランティアが行う。

およその時程

受付	9:00～ 9:15
学習1（国語）	9:15～10:00
休憩	10:00～10:15
学習2（算数）	10:15～11:00
感想記入	11:00～11:10
下校	11:10～

**あなたもボランティア活動に
チャレンジしよう！第2弾！
ホリデースクールに参加しよう！！**

やること
小学生の国語・算数の学習の手伝い

教えるの
楽しみね

分かりやすく教
えるよう頑張る

また会うのが楽しみ

日時
○月○日（△）9時～

場所
○○小学校 教室

持ち物
・上履き



「良くできているね！」と丸付けをしてくれているボランティアの中学生



落ち着いた環境での学習で、意欲も大幅アップ!



ボランティアが多く集まり、1対1での学習となりました。



参加した中学生の感想

ホリデースクールに参加していた小学生は、「終わりました!」「ありがとうございます」「〜です」ときちんとあいさつをしてくれました。わからないところがわかってくれた時は、とてもうれしかったです。

今回は初めてのホリデースクール参加でした。とてもやりがいのある2日間でした。誰かに教える楽しさが分かったと同時にその大変さも分かった。この2日間は、とても貴重な時間でした。

最初、どうやって教えられるのか難しかったけれど、だんだん理解してくれて、とてもやりがいがありました。みんな勉強に一生懸命で、尊敬しました。

また次回も参加したいです。

参加した小学生の感想

わたしは、算数がにがてでした。でも中学校のおねえさんがいっぱいおしえてくれたので、算数がすきになりました。

にがてな勉強ができてうれしかったです。見直しは、とても大事だということも知りました。

事後

(9) ホリデースクール通信の発行により、スクールを広め関係した中学生や教師に感謝の気持ちを伝える。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・学習の目的をしっかりともち学習することにより、集中して学習に取り組んでいる姿が見られた。
- ・プリントにより学習の振り返りや復習ができた。
- ・小学生は、中学生に丸をつけてもらいながら「がんばったね」「よくできるね」と声をかけられ、自己肯定感や達成感そして中学生を敬う気持ちをもつことができた。
- ・中学生は、教えることの難しさや楽しさを味わいながら、「自分も頑張っって勉強に取り組もう」という気持ちをもつことができた。
- ・互いに心を解きほぐし、学習を通して充実感・感謝の気持ち・心の触れ合いを感じることができた。

(2) 課題

- ・実施2年目を迎え、参加者が固定化してきている。更に、多くの児童生徒に広めていきたい。
- ・事前に学習材料(プリント)を準備し中学生に配布することにより、中学生が問題に触れ自信を持ち参加できるようにしていきたい。

彦成小ホリデースクール通信 No.1 平成21年7月1日
6月5日、本年度第1回目のホリデースクールを実施しました。

もちろん先生は、北中学校の生徒です。今回は、16名が参加してくれました。

お世話になったボランティアの方々(敬称略)
〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん

